

広島修学旅行に関する平和学習の 現状と課題について

（各学校に対するアンケート調査結果）

令和6年（2024年）5月

（令和6年（2024年）6月更新）

公益財団法人広島平和文化センター 総務課平和文化振興担当
広島市市民局国際平和推進部 平和推進課被爆体験継承担当

目 次

はじめに（概況）	1 ～ 2
----------	-------

I 現況

1 広島における平和学習	
(1) 広島での平和学習の総時間数	3
(2) 資料館見学の時間数	3
(3) 広島での平和学習内容	4
(4) 充実・追加がのぞましい広島での平和学習内容	4
2 各学校での事前・事後の平和学習	
(1) 事前の平和学習	5
(2) 事後の平和学習	5

II 効果

1 平和学習の効果	
(1) 平和学習の達成度	6
(2) 平和学習効果の全体像	6
(3) 個別に挙げられた平和学習効果	7 ～ 8
2 今後の平和学習の継続意向	9

III 課題

1 本川・袋町小資料館の展示活用	10
2 専門ガイドの利用	10
3 平和集会等での追悼平和祈念館の利用	11
4 被爆体験の継承	11
5 被爆体験伝承者等の派遣制度の活用	12
6 昼食会場としての新サッカースタジアムの利用	12
7 その他の課題	13

IV 資料館の混雑対策

1 朝夕の事前予約の活用	14
2 事前予約制度の導入	14

V 参考

1 全般	15
2 事前の情報収集関係	15
3 事前学習関係	16
4 昼食関係	16
5 混雑対策関係	17

はじめに(概況)

令和6年3月、広島修学旅行に関する平和学習について、さらに充実して、広く展開していくことを目指し、1,121の小・中・高校を対象に、アンケート調査を実施した。うち、456校、41%の学校から、意を尽くした回答をいただいた。各学校の多大なるご協力に対して、心から感謝を申し上げる。

アンケート調査に基づく、広島修学旅行に関する平和学習の現況、効果、および課題の概況は、以下のとおりである。

(調査の目的・対象等)

1 調査の目的

- (1) 対象となる平和学習
 - ① 広島における平和学習
 - ② 各学校での事前・事後の平和学習
- (2) 想定されるアウトプット
 - ① (1)に係る現状・効果について、各学校にフィードバック
 - ② (1)に係る課題について、受入れ上必要な支援措置を検討

2 調査の対象とした学校

令和4年11月から令和5年10月までに、資料館を訪れ、被爆体験証言等を聴講した学校

3 調査期間

令和6年3月7日から令和6年3月31日まで

4 調査校数と回答率

区 分	小学校	中学校	高校	全体
調査校数	672	285	164	1,121
回答校数	302	109	45	456
回答率	45%	38%	27%	41%

(回答率は、小数点第1位を四捨五入)

現況

- ・ 広島修学旅行に関連した平和学習は、プロセスとして、広島での学習のみならず、各学校での事前・事後の学習が、一体化されている。そして、それは、多くの学校で、教育システムとして定着していることが伺われる。
- ・ 典型例を示せば、まず、事前学習は、特に小・中学校では、「社会科」や「総合的な学習の時間」等を活用し、かなりの時間数をかけて、戦争体験者による講話や、調べ学習などを内容とする、充実した形で実施されている。この段階で、戦争や原爆に関する知識は、かなりの程度習得される。
- ・ メインとなる広島では、一定の学習時間が確保される中、ほとんどの学校が、①被爆者等による講話に加え、②資料館の見学、③原爆ドームの見学、④平和集会等、⑤慰霊碑参拝・碑めぐりなど、多岐にわたる学習を行っている。このような学習を通じて、広島は、事前学習で得ていた、ネットや本の中の知識を、リアルな実感につなげる、特別な場所となっている。
- ・ さらに、事後学習は、特にほとんどの小・中学校で、振り返り文章の作成や後輩学年への報告会等が行われており、子どもたちが広島で習得した平和意識を発信し、思いを強める良い機会となっている。

効果

- 子どもたちは、広島で、多岐にわたる学習を通じ、「当時をそのまま伝える、原爆ドーム・資料館」、「一人称で平和を語る、被爆者などの広島の方々」、「平和記念公園にしか存在しない、緊張した空気感」、「熱心に見学する沢山の外国人」、「同世代の子どもの被害や家族の悲しみ、平和への想い」といった様々な要素の相乗効果によって、戦争・原爆被害の悲惨さとその愚かさを、厚みを持った生の体験として、リアルに実感することとなる。すなわち、現実とは別の時代・世界の出来事としてではなく、自分や、自分の身近な人と重ね合わせて考えるようになる。
- 戦争や原爆は平和とは真逆の存在なので、それらをリアルに実感することは、これまで当たり前だと思っていた平和な日々が、実は全く当たり前ではなく、先人の努力や、多数の犠牲の上にかち取られた、有り難いものであると再認識することにつながる。それゆえ、平和は黙っていれば与えられるものではなく、能動的に守っていかなければならないという自覚を呼び起こす。
- そして、その自覚は、平和に向けて自ら取り組むことへと発展していく。具体的には、あらゆる暴力は否定されるべきであり、仮に争いが生じて、話し合いで、平和的に解決しなければならないことが理解される。それは、日常生活での自分にできる取組の実践を伴うものとなる。さらには、社会を担う一員として、戦争・被爆体験を語り継いでいく責任を認識したり、核兵器廃絶や世界の恒久平和に関心を持ち、声を上げることに繋がっていく。
- このような平和を尊重する意識の芽生えは、広島での心に残る貴重な体験によるものであり、これからの時代を担う子どもたちにとって、非常に大切な学びとなる。
- そして、このような平和意識の習得が、高い水準で達成されていることから、ほぼ全ての学校が、広島修学旅行による平和学習を継続する意向を示している。なお、あわせて、「日本の子どもたちには、10代が終わるまでに、一度は広島・長崎を訪れ、心を震わせる機会を作ってあげてほしい。」という指摘もある。

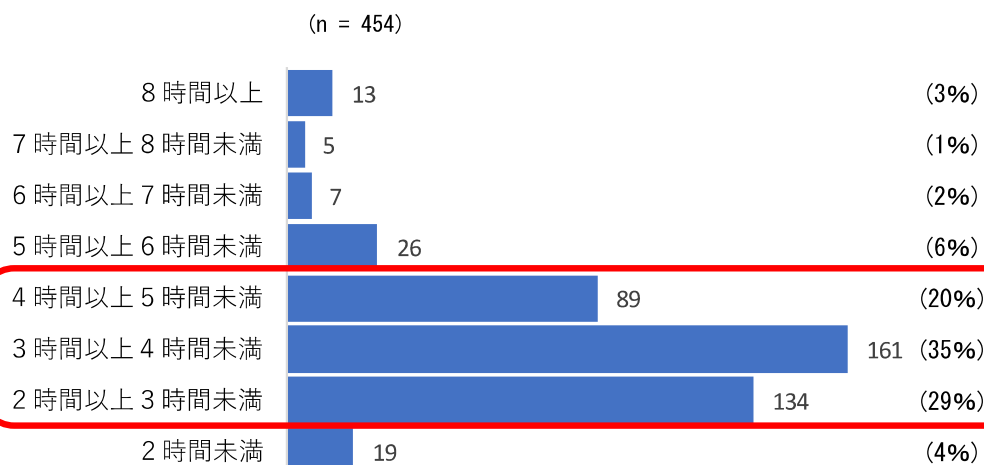
課題

- 広島での多彩な学習をさらに充実するため、各学校からは、①本川・袋町小資料館、②ピースボランティアなどの専門ガイド、③追悼平和祈念館での平和集会等、④昼食場所としての新サッカースタジアムに関して、高い利用の意向が示された。また、⑤広島の子どもたちとの交流についても、関心が高い。
- 事前学習では、⑥被爆体験伝承者等の派遣制度に、高い活用意向が示された。
- 一方で、⑦資料館が混み過ぎていて展示見学が困難であったことを理由に、資料館の混雑緩和を求める意見が多数に及んだ。さらに、⑧資料館の展示等について、子どもたちの特性に応じた対応を求める意見、⑨各学校での事前学習等について、広島からの支援を求める意見もあった。
- これらの課題に関しては、今回のアンケート調査結果を吟味し、必要となる支援措置等について、具体的に検討を進める考えである。

I 現況

広島での平和学習の総時間数

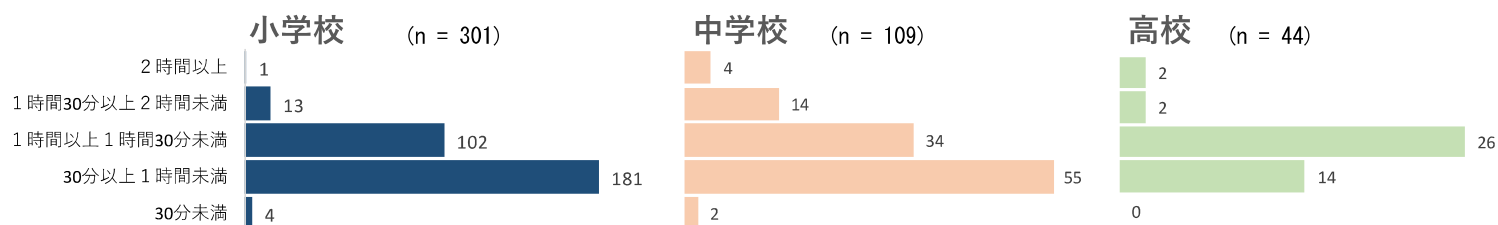
Q 当日、平和学習に充てた時間はどれくらいですか。
(資料館見学、被爆者講話の聴講等に加え、施設間の移動を含むトータルの時間)



「3 時間以上 4 時間未満」(35%) が最も多く、次いで「2 時間以上 3 時間未満」(29%)、「4 時間以上 5 時間未満」(20%) と、**一定の学習時間**が確保されている。

資料館見学の時間数

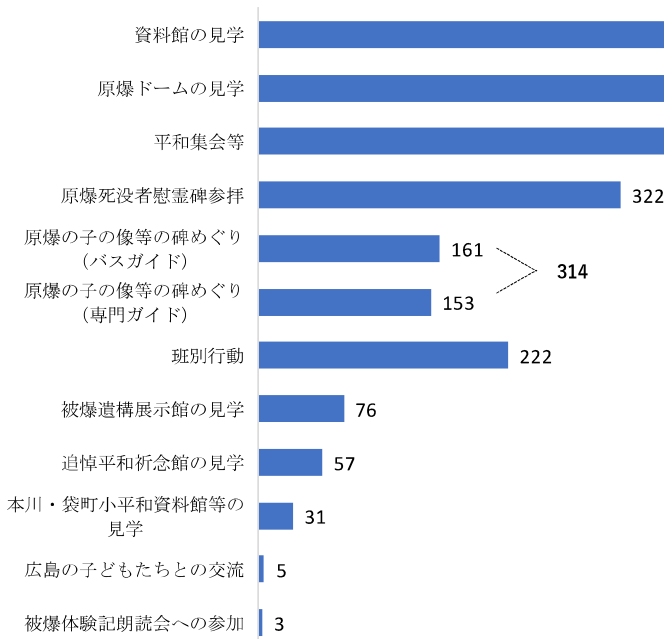
Q 資料館の見学に充てた時間を教えてください。(待ち時間を除く)



小・中学校では「30分以上 1 時間未満」が最も多く、次いで「1 時間以上 1 時間30分未満」。
高校では「1 時間以上 1 時間30分未満」が最も多く、次いで「30分以上 1 時間未満」。

広島での平和学習内容

Q 広島滞在中、平和学習としてどのような内容を行いましたか。（複数回答可）



区 分	全体	小学校	中学校	高校
資料館の見学	455 100%	302 100%	109 100%	44 98%
原爆ドームの見学	392 86%	270 89%	88 81%	34 76%
平和集会等	378 83%	271 90%	89 82%	18 40%
原爆死没者慰霊碑参拝	322 71%	222 74%	73 67%	27 60%
原爆の子の像等の碑めぐり (バスガイド)	161 35%	117 39%	25 23%	19 42%
原爆の子の像等の碑めぐり (専門ガイド)	153 34%	81 27%	58 53%	14 31%
班別行動	222 49%	177 59%	42 39%	3 7%
被爆遺構展示館の見学	76 17%	50 17%	22 20%	4 9%
追悼平和祈念館の見学	57 13%	39 13%	14 13%	4 9%
本川・袋町小平和資料館等の見学	31 7%	14 5%	15 14%	2 4%
広島の子どもたちとの交流	5 1%	2 1%	2 2%	1 2%
被爆体験記朗読会への参加	3 1%	2 1%	1 1%	0 0%

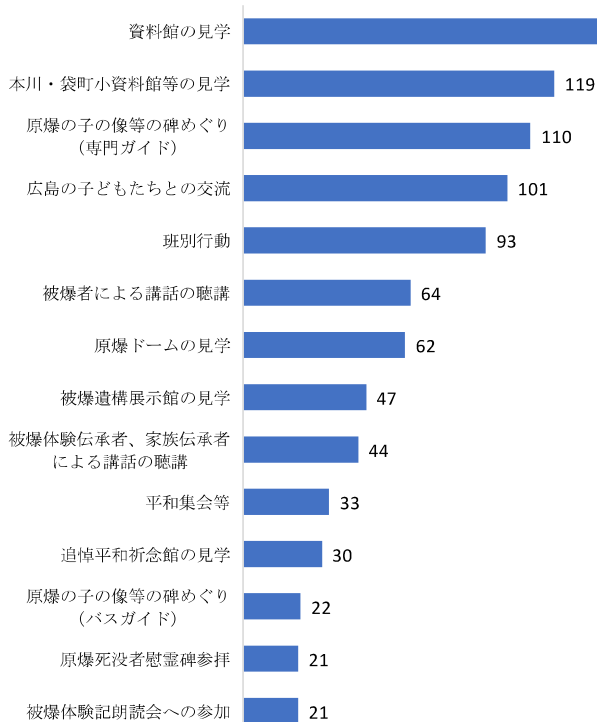
※割合は校種ごとの回答数に対する割合 (n = 456) (n = 302) (n = 109) (n = 45)

ほとんどの学校が、①被爆者等による講話に加え、②資料館の見学、③原爆ドームの見学、④平和集会等、⑤慰霊碑参拝・碑めぐりを行っており、多彩な平和学習内容となっている。

また、班別行動も約半数が行っている。
(なお、今回のアンケートは、講話を受講した学校を対象)

充実・追加がのぞましい広島での平和学習内容

Q 仮に、さらに平和学習に充てる時間を確保できるとしたら、どの内容を充実・追加したいと考えますか。（複数回答可）



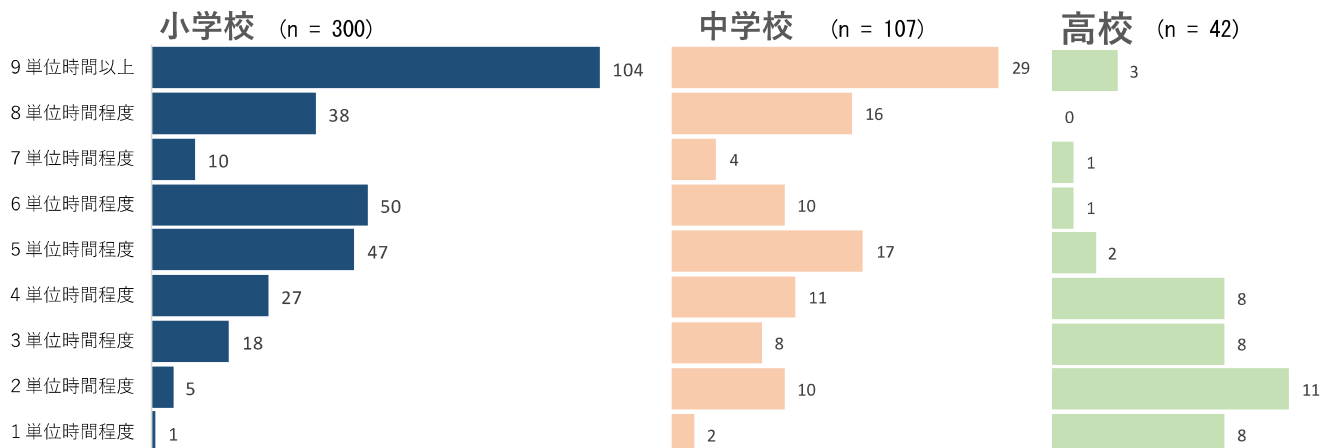
区 分	全体	小学校	中学校	高校
資料館の見学	173 38%	115 38%	38 35%	20 44%
本川・袋町小資料館等の見学	119 26%	86 28%	25 23%	8 18%
原爆の子の像等の碑めぐり (専門ガイド)	110 24%	77 25%	21 19%	12 27%
広島の子どもたちとの交流	101 22%	65 22%	24 22%	12 27%
班別行動	93 20%	65 22%	17 16%	11 24%
被爆者による講話の聴講	64 14%	37 12%	21 19%	6 13%
原爆ドームの見学	62 14%	36 12%	16 15%	10 22%
被爆遺構展示館の見学	47 10%	32 11%	8 7%	7 16%
被爆体験伝承者、家族伝承者による講話の聴講	44 10%	17 6%	20 18%	7 16%
平和集会等	33 7%	15 5%	12 11%	6 13%
追悼平和祈念館の見学	30 7%	21 7%	5 5%	4 9%
原爆の子の像等の碑めぐり (バスガイド)	22 5%	18 6%	3 3%	1 2%
原爆死没者慰霊碑参拝	21 5%	15 5%	5 5%	1 2%
被爆体験記朗読会への参加	21 5%	10 3%	7 6%	4 9%

※割合は校種ごとの回答数に対する割合 (n = 456) (n = 302) (n = 109) (n = 45)

「資料館の見学」が最も多く、さらなる学習の充実がのぞまれている。
さらに、「本川・袋町小資料館等の見学」、「専門ガイドによる碑めぐり」、「広島の子どもたちとの交流」への関心も高くなっている。

事前の平和学習

Q 広島修学旅行前に事前の平和学習を何時間位実施しましたか。



特に、小・中学校では「9 単位時間以上」が最も多く、全体として**充実した事前学習**が行われている。

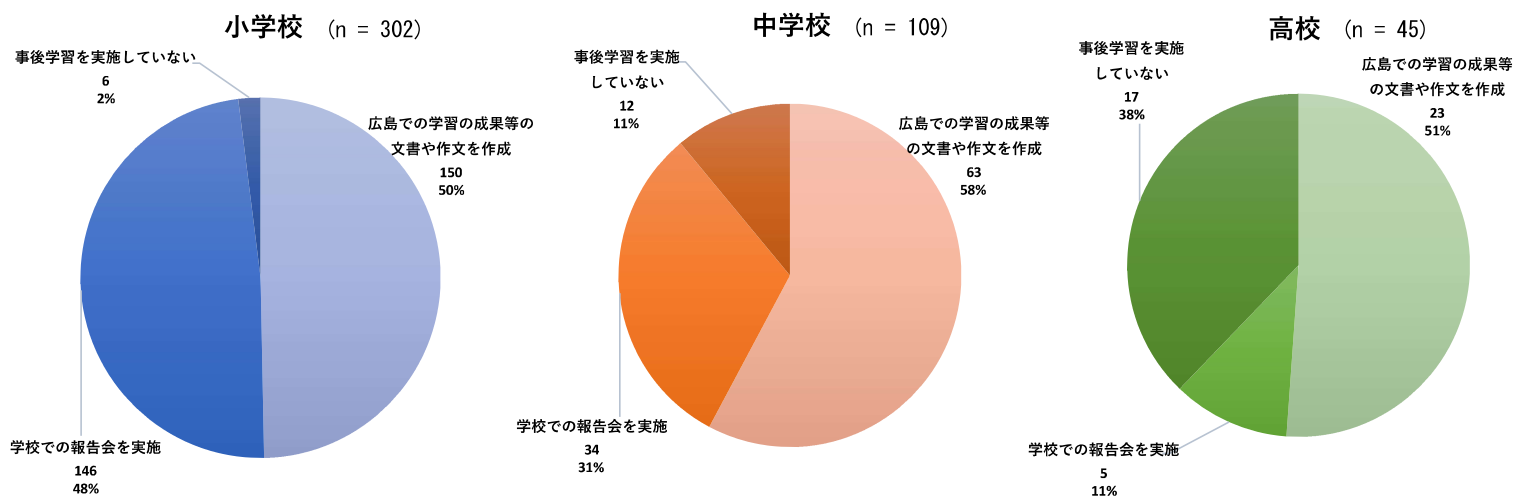
(事前学習の例)

- ・「社会科」での重点的な学習
- ・「総合的な学習の時間」における平和学習

(戦争体験者による講話、本やインターネットを活用した調べ学習、資料館展示物の予備学習、折鶴作成など)

事後の平和学習

Q 修学旅行後に、どのような平和学習を行いましたか。



特に小・中学校では、**ほとんどの学校**で事後学習が行われている (小 : 98%、中 : 89%)。

(事後学習の例)

- ・振り返りの文章の作成
- ・後輩学年等への報告・発表

II 効果

平和学習の達成度

Q 広島修学旅行による平和学習で、どのような学習効果を得られたと考えていますか。
(複数回答可)

区 分	全体		小学校		中学校		高校	
被爆者の思い・苦労や平和への願いについて考え、共感することができた。	441	97%	298	99%	100	92%	43	96%
原子爆弾による被害について理解することができた。	428	94%	290	96%	97	89%	41	91%
平和な世界を創造していくために、自分にできることを考えることができた。	376	82%	262	87%	90	83%	24	53%
戦争や被爆を身近な問題として捉え、自分事として実感することができた。	371	81%	246	81%	87	80%	38	84%
平和を学ぶことで、人間を尊重する心情・意欲を養うことができた。	310	68%	209	69%	75	69%	26	58%
同年代の子どもたちの原爆被害に触れ、共感する心情を養うことができた。	245	54%	171	57%	58	53%	16	36%

※割合は校種ごとの回答数に対する割合 (n = 456) (n = 302) (n = 109) (n = 45)

「平和の願いへの共感」、「原爆被害への理解」、「平和に向けて自分ができること」、「戦争や被爆の実感」のいずれもが、高い水準で達成されている。
また「人間性の尊重」もかなり高くなっている。

平和学習効果の全体像

Q 具体的に広島修学旅行による平和学習でどのような効果を得られたと考えていますか。
(自由記述)

○ 広島で、戦争・原爆被害の悲惨さとその愚かさを、様々な視点・角度からリアルに実感でき、身近なこと・自分ごとにつながった。

- ・原爆ドーム、資料館の展示などを通じ、実際に起こった出来事をイメージできた。
- ・被爆者はじめ沢山の方々に会い、平和への強い思いを受け止めた。
- ・広島や平和記念公園にしか存在しない空気（雰囲気）を体感した。
- ・沢山の外国人観光客を目の当たりにし、世界からの関心の高さを知った。
- ・同世代の子どもたちの被害・家族の悲しみを知り、また、同世代と交流し、深く共感した。



原爆ドーム



資料館展示物
三輪車の遺品
(寄贈者：鎌谷信男氏)



ピースボランティアによるガイド
平和記念公園周辺の碑巡り



原爆の子の像
折鶴奉納、平和集会の実施

今の平和な生活の有り難さを再認識し、それを守るためには、あらゆる暴力の否定と自らの能動的な努力が不可欠であることに気づく。

○ 発達過程にある子どもたちが、唯一の戦争被爆国の国民として、平和を尊重する意識を持つことができた。

- ・平和をじっくりと考える機会となり、平和への意識が高まった。
- ・平和な世界に向けて、自分に何ができるかを考える契機となった。
- ・子どもたちが、平和について、自ら発信することができた。
- ・原爆の恐ろしさを学び、核問題・国際問題へと視野が広がった。



被爆体験講話



被爆体験朗読会

個別に挙げられた平和学習効果

○ 広島で、戦争・原爆被害の悲惨さとその愚かさを、様々な視点・角度からリアルに実感でき、身近なこと・自分ごとにつながった。

- ・ 事前学習はしていたが、実際広島に行き、広島の景色を見る、空気を感じる、広島の方の話を聴く（交流する）、遺産を目にすることで、本の中、テレビの中、ネットの中の情報が、厚みを持った生の体験として感じられた。
- ・ 学校での平和学習は、この平和な時代を生きる子どもたちにとっては、現実とは別世界のものであるが、広島に行くことで、身近なこととして感じられた子どもが増えた。
- ・ 教室では、どうしても「昔、広島では…」となるが、広島の学習では、「私たちは…」という主語で語ってくださるので、意識が高まる。
- ・ 事前学習で学んだ佐々木禎子さんのことを思い出し、幼い子どもたちが本当に辛い思いをしていたことを実感して、強い怒りを感じたり、自分だったらと恐怖を感じた子がいた。

○ 原爆ドーム、資料館の展示などを通じ、実際に起こった出来事をイメージできた。

- ・ 本物の原爆ドーム、被災地、被爆場所、遺留品などを見ることで、被爆の悲惨さや被害の大きさ、戦争の愚かさを心に深く刻み込むことができた。
- ・ 資料館の見学により、原爆の被害の状況や展示物の遺品が訴えかけるものを子どもたちが感じ取っていた。
- ・ 原爆ドームを間近に見るだけで、子どもは、想像し、考えを巡らすことができる。
- ・ なぜ原爆ドームを後世に残しているのかを考える中で、戦争の悲惨さを伝え続けなければならないことを実感した。

○ 被爆者はじめ沢山の方々に会い、平和への強い思いを受け止めた。

- ・ 被爆者の生の声を聴くことによって、自分や自分の家族とはかけ離れた世界の話だった戦争を、自分のこと、自分の身近な人と重ね合わせて考えるようになった。
- ・ 今の自分たちの平穏な生活が「当たり前」ではなく、戦争体験を語る人や戦争を二度と繰り返してはいけないと語り継ぎながら活動している人等、沢山の人の努力の上に成り立っていることに気づけた。
- ・ 悲しい歴史を生き抜いている広島の方々の強さや優しさに触れたことは、生きる力を育むことに寄与した。

○ 平和記念公園にしか存在しない緊張した空気（雰囲気）を体感した。

- ・ 資料館、平和記念公園全体を通して、空気感というか、平和への緊張感が、子どもたちに伝わっていった。
- ・ 現地で学ぶことで、原爆の恐ろしさを肌で感じて、知ることができる。平和記念公園での雰囲気全体が学びの場として良いと思う。
- ・ 広島あの場所ですら感じられない思いがあると思っている。昔ここで起こった悲劇について、話を聴いたり、展示を見たりする中で、自然と子どもたちの中で戦争への思いが湧き起こってきたように感じる。

○ 沢山の外国人観光客を目の当たりにし、世界からの関心の高さを知った。

- ・ オバマ大統領をはじめ、G7各国首脳がなぜ広島を訪れるのか、また、外国から多くの方がなぜ訪れているのか、実際見て感じることは大きな効果がある。多くの外国人観光客が熱心に展示内容を見ている姿は、それだけ関心の高さを示しており、子どもたちに世界的な視野を与える一助になった。
- ・ 沢山の外国の方や子どもたちが訪れていることを知り、みんなが平和について学んでいることを理解することができた。子どもたちにとって、広島は平和について考えを深める特別な場所になった。

○ 同世代の子どもの被害・家族の悲しみを知り、また、同世代と交流し、深く共感した。

- ・ 同世代の子どもたちの被害についての展示や家族の悲しみのメッセージに触れ、戦争の悲惨さと愚かさを感じ、平和に向かってどうすべきか考えるきっかけとなった子どもが多くいた。
- ・ 学校間交流により、同世代の平和に対する思いや熱意に動かされ、自分たちにもできることを考えるようになった。
- ・ 千羽鶴が全国から献納されている様子を実際見て、同じ思いの人たちがこれだけ大勢いることを実感できた。

○ 発達過程にある子どもたちが、唯一の戦争被爆国の国民として、**平和を尊重する意識を持つことができた。**

- ・ 日本国民として、世界平和に向けて被爆国日本が果たすべき役割を自覚することが大事だと思う。そこから、社会の平和は自身の問題だと捉え、行動する人間へと育てなくてはならない。
- ・ 広島では、平和の尊さについて実感することができ、これからの時代を生きる子どもたちにとって、とても大切な学びとなる。日本が二度と戦争に関わらないこと、そうならないために一人一人ができることを考え、実行していける力を育てている。
- ・ 生徒の振り返りや感想からも、心に残る経験になったことを感じている。発達段階にある今、このような経験ができることは、これから生きていく上で非常に貴重な機会であると思う。
- ・ 修学旅行で行かなければ、一生で一度も広島に行かない子どももいる。学校という機関が修学旅行で広島に行き、平和学習をすることは、非常に意味があると思う。
- ・ 日本の子どもたちには、10代が終わるまでに、一度は広島・長崎を訪れ、心を震わせる機会を作ってあげていただきたい。

○ 平和をじっくりと考える機会となり、**平和への意識が高まった。**

- ・ 平和な世の中を創っていくために自分たちができることは何かを、じっくり考える機会を得ることができた。さらに多くの子どもが、将来、自分たちで平和な世の中を創っていかなくてはならないという自覚を持つことができた。
- ・ 平和が、いかに当たり前ではなく、ルールや配慮などの努力の上に成り立っている有難いものであるか、実感できた。
- ・ 現在の平和が先人たちの努力によってつくられたことや、その裏で大きな犠牲があったことについて学び、現在の平和を維持することの大切さに対して一層意識を高めることができた。

○ 平和な世界に向けて、**自分に何ができるかを考える契機となった。**

- ・ 平和学習をしていく中で、戦争や原爆に対する考えが深くなると同時に、今の生活の有難さを実感でき、それを普段の生活に活かしていけるようになったと感じる。
- ・ 今なお戦争が続いており、その戦争の火種は、日々の自分たちの静いにあることに気づくことができた。
- ・ 世界中の人々が幸せに暮らせるよう、争いのない世界になるために、自分にできること（友達を大切にする、誰とでも仲良くする、当り前のことを当り前にする等）を考えることができた。
- ・ 今を懸命に生きようとする気持ちが持てたことはとても良かった。

○ 子どもたちが、平和について、**自ら発信することができた。**

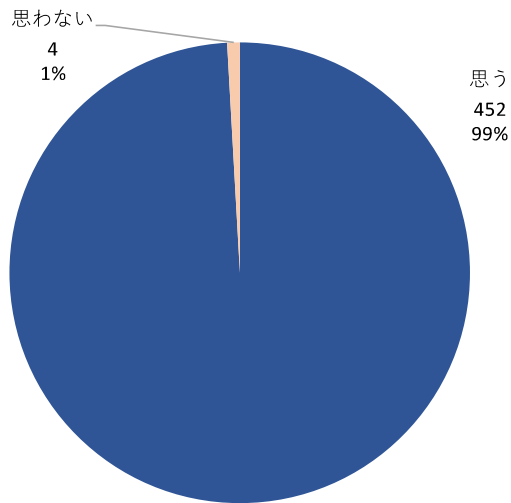
- ・ 自分たちが平和をつないでいくためには、戦争のことを知り、後世へと語り継いでいくことが大切であると感じることができた。
- ・ 学んだことを「自分たちが伝えていかなくてははいけない」という気持ちを持ち、家族等身近な人と話し合った子どもが多数いた。
- ・ 学校の後輩学年に平和学習のまとめを発表する。その時伝える内容を見ても、実際に広島で被爆者の思いを聴き、真摯に捉え、共感したことの効果を感じる。
- ・ 発信により、経験や考えたことを下級生に伝えて広げるとともに、思いを更に強くすることができた。

○ 原爆の恐ろしさを学び、**核問題・国際問題へと視野が広がった。**

- ・ 事前学習での原爆投下についての学びが、リアルなものになって、実際に自分たちがその立場になったらというところまでイメージできた。
- ・ 原爆による被害の大きさと被爆者の思いを知ることによって、原爆を二度と使わせないという決意をすることができた。
- ・ 日本は唯一の被爆国であり、子どもたちも未来に向けて核兵器廃絶の思いを持つことができた。
- ・ ウクライナの報道等、世界の情勢にも関心を持つようになった。テレビで見る様子や、広島の映像を結び付けて考える子どももいた。

今後の平和学習の継続意向

Q 今後も広島修学旅行による平和学習を行いたいと思いますか。



区 分	全体		小学校		中学校		高校	
思う	452	99%	300	99%	107	98%	45	100%
思わない	4	1%	2	1%	2	2%	0	0%
合 計	456	100%	302	100%	109	100%	45	100%

ほぼ全ての学校が、広島修学旅行による平和学習の継続を考えており、高い学習効果が示されている。



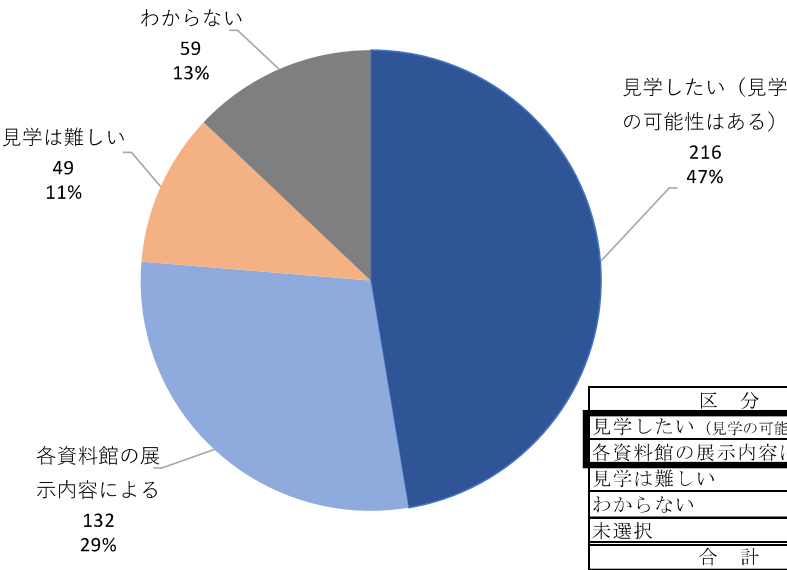
写真：広島市

平和記念公園

Ⅲ 課題

本川・袋町小資料館の展示活用

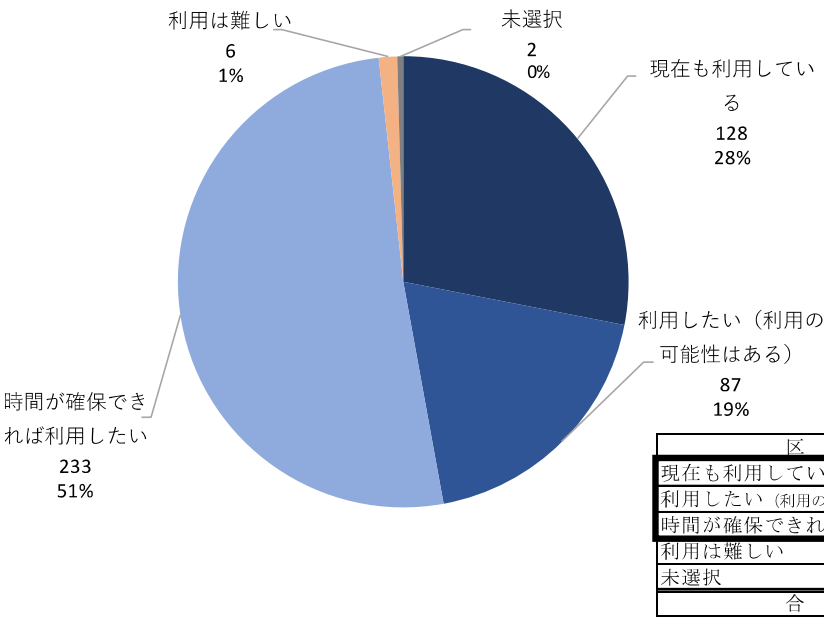
Q 本川・袋町小資料館については、今後平和学習の拠点として、子どもたちに分かりやすく、共感を得られる展示を行うことを検討しています。両平和資料館を見学したい意向はありますか。



「見学したい（見学の可能性はある）」（47%）に、「各資料館の展示内容による」（29%）を加えると、**活用可能性は76%**となっている。

専門ガイドの利用

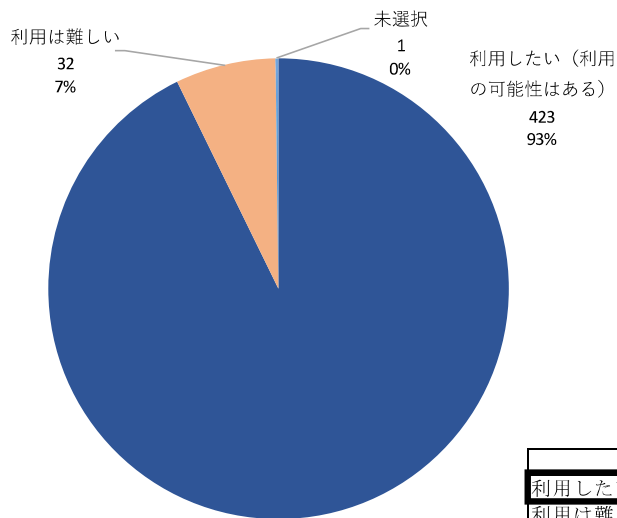
Q 原爆の子の像等の碑めぐりを行う際に、ピースボランティアなどの専門ガイドを活用することで理解がさらに深まると考えられますが、利用したい意向はありますか。



「現在も利用している」（28%）に、「利用したい（利用の可能性はある）」（19%）と「時間が確保できれば利用したい」（51%）を加えると、**ほぼ全ての学校**で利用意向がある。

平和集会等での追悼平和祈念館の利用

Q 平和を祈念するための集会・行事については、悪天候・暑い日に備えるため、長崎同様に追悼平和祈念館を利用することも考えられますが、利用したい意向はありますか。

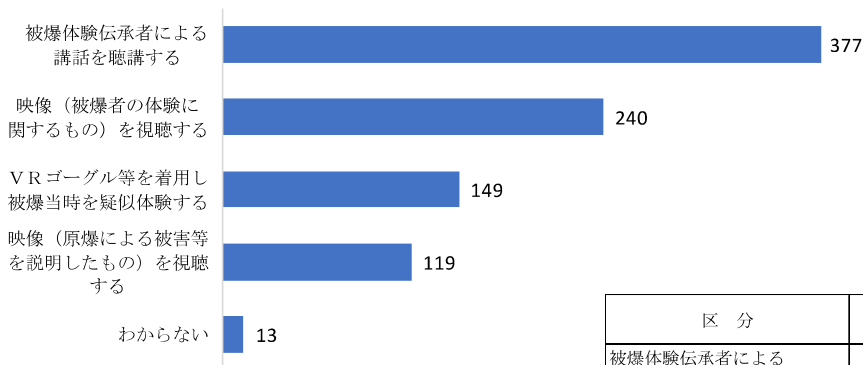


区 分	全体		小学校		中学校		高校	
利用したい（利用の可能性はある）	423	93%	282	93%	100	92%	41	91%
利用は難しい	32	7%	19	6%	9	8%	4	9%
未選択	1	0%	1	0%	0	0%	0	0%
合 計	456	100%	302	100%	109	100%	45	100%

ほとんどの学校が利用意向を示している。

被爆体験の継承

Q 今後被爆者から直接被爆体験を聴くことが困難になった場合、どのような方法を期待しますか。（複数回答可）



	(n = 456)		(n = 302)		(n = 109)		(n = 45)	
区 分	全体		小学校		中学校		高校	
被爆体験伝承者による講話を聴講する	377	83%	250	83%	89	82%	38	84%
映像（被爆者の体験に関するもの）を視聴する	240	53%	160	53%	57	52%	23	51%
VRゴーグル等を着用し被爆当時を疑似体験する	149	33%	79	26%	46	42%	24	53%
映像（原爆による被害等を説明したもの）を視聴する	119	26%	79	26%	28	26%	12	27%
わからない	13	3%	10	3%	3	3%	0	0%

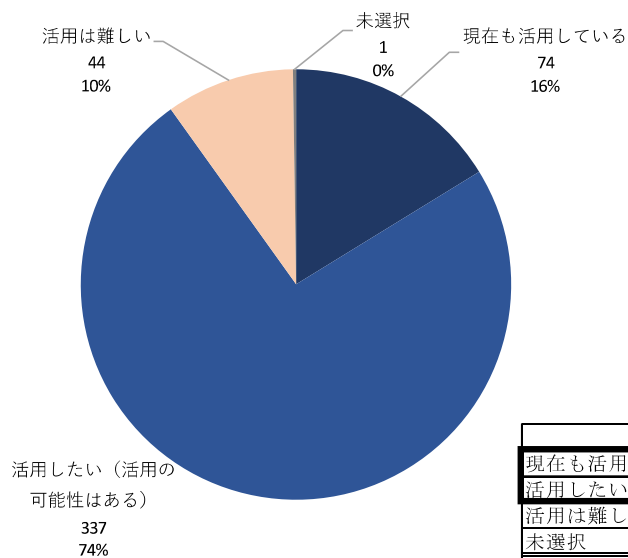
※割合は校種ごとの回答数に対する割合

被爆者からの直接の伝承の重要性が指摘される中、「被爆体験伝承者による講話」（83%）が最も多くなっている。

次いで、「映像（被爆者の体験に関するもの）」（53%）、「VRゴーグル等」（33%）となっている。

被爆体験伝承者等の派遣制度の活用

Q 事前の平和学習を充実するため、被爆体験伝承者等派遣制度または被爆体験記朗読ボランティア派遣制度を活用したい意向はありますか。

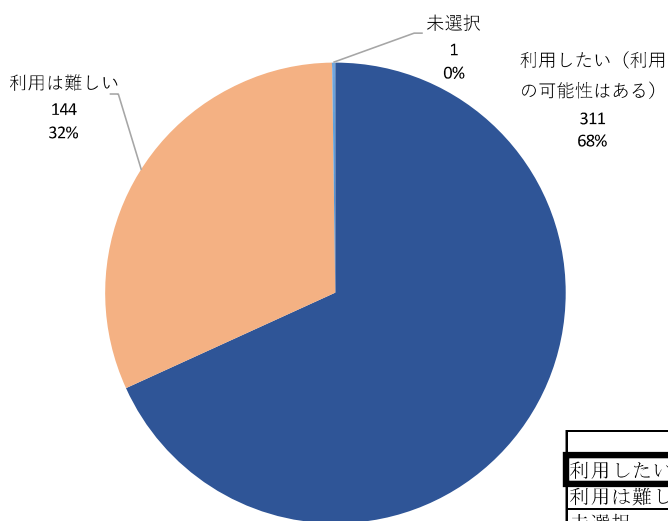


区 分	全体		小学校		中学校		高校	
現在も活用している	74	16%	42	14%	23	21%	9	20%
活用したい（活用の可能性はある）	337	74%	229	76%	76	70%	32	71%
活用は難しい	44	10%	31	10%	9	8%	4	9%
未選択	1	0%	0	0%	1	1%	0	0%
合 計	456	100%	302	100%	109	100%	45	100%

「現在も活用している」(16%)に、「活用したい（活用の可能性はある）」(74%)を加えると、**ほとんどの学校**が活用意向を示している。

昼食場所としての新サッカースタジアムの利用

Q 悪天候・暑い日にも備えられる昼食場所として、新サッカースタジアムの利用意向はありますか。



区 分	全体		小学校		中学校		高校	
利用したい（利用の可能性はある）	311	68%	213	71%	68	62%	30	67%
利用は難しい	144	32%	88	29%	41	38%	15	33%
未選択	1	0%	1	0%	0	0%	0	0%
合 計	456	100%	302	100%	109	100%	45	100%

「利用したい（利用の可能性はある）」は**68%**となっている。

その他の課題

見学者が多過ぎて展示を見るのが困難だったので、資料館の混雑緩和をお願いしたい。

- ・ 資料館でしっかり学習をしたい。一番見たい展示場所でも止まることが許されず、子供たちが見て、思いを持つことが、全くできなかった。子どもたちも現地での勉強の場として楽しみにしていたので、とても残念だった。
- ・ 人混みの中で、はぐれないようにするのが精一杯だと言っていた子どもが多かった。せっかくの学びの場なので、ゆっくり見学できたらと思う。
- ・ 大人が多く、児童の目線では見えにくい展示もあった。
- ・ 体調不良の子どもを休ませる救護室が、空いていないことがある。
- ・ 計画していた平和集会等の内容も、待ち時間等で断念せざるを得ない場合もある。

子どもたちの特性に応じた対応を検討して欲しい。

- ・ 展示の説明文章の量が多く、一部児童には難しいので、子どもたち向けの音声ガイドや動画のタブレットなどがあると良い。
- ・ 被爆者やボランティアの方によっては、説明が難しい場合がある。児童にも分かる戦争用語の解説などがあると、より効果的に学習できる。
- ・ 少しマイルドなゾーンを設けるなど、展示を「怖い」と感じて、見学できない児童に対する支援があるとありがたい。

広島の子どもたちと交流したい。

- ・ 広島の子どもたちから話を聴くことができれば、刺激になり、さらによい。
- ・ 広島の高校生と交流する機会がほしい。平和に対する意識の違いなど同年代の高校生同士で語り合ってほしい。
- ・ 広島の子どもたちと交流したいが、資料館などが間に入っただけだと交流のハードルが低くなる。
- ・ 碑めぐりガイドを、大学生など近い年代の方に行ってもらえる機会が増えると良い。

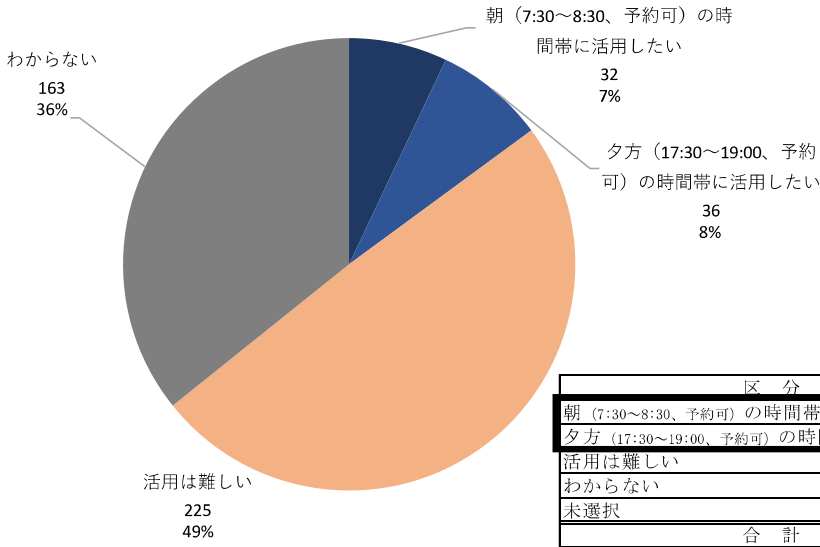
各学校への支援を充実してほしい。

- ・ ベテラン教員が退職し、学校規模も縮小する中、ほぼ若手教員一人で、事前・事後学習を含め担当せざるを得ない。このため、各学校の平和学習のモデルケースを参考にできれば、大変助かる。
- ・ 何を知っておけば、より効果的な学習になるか、事前学習の指針があると良い。
- ・ 発達段階を考慮した見学コースを推奨いただけると良い。
- ・ 中学生用に20分程度の映像があると利用しやすい。

IV 資料館の混雑対策

朝夕の事前予約の活用

Q 令和6年3月から、朝（7:30～8:30）又は夕方（17:30～19:00）に開館時間を延長し、その時間帯は、混雑を避けるため上限人数を設定し、事前予約を行って（その他の時間帯は上限人数の設定および事前予約を行わない。）います。
修学旅行生についても、朝夕に事前に予約して待ち時間なしに時間的余裕を持って見学していただくことも考えられます。このような事前予約制度を活用したい意向はありますか。

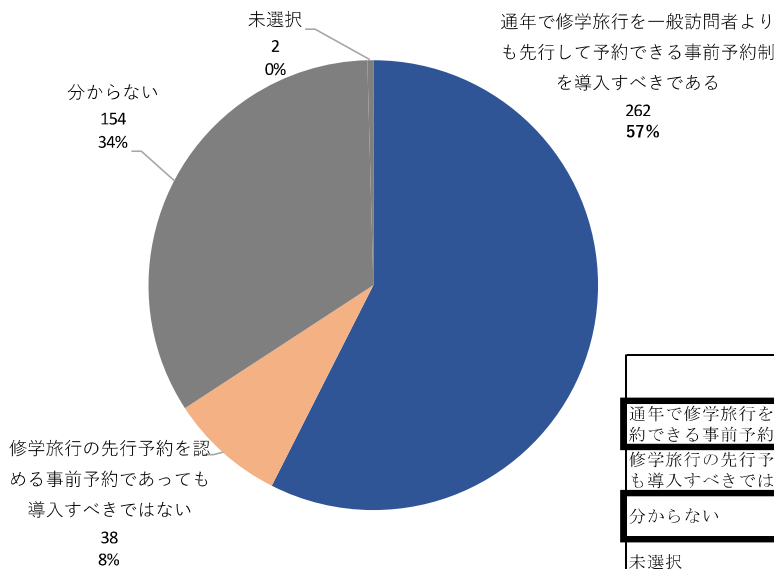


区 分	全体		小学校		中学校		高校	
朝（7:30～8:30、予約可）の時間帯に活用したい	32	7%	19	6%	6	6%	7	16%
夕方（17:30～19:00、予約可）の時間帯に活用したい	36	8%	19	6%	10	9%	7	16%
活用は難しい	225	49%	170	56%	43	39%	12	27%
わからない	163	36%	94	31%	50	46%	19	42%
未選択	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合 計	456	100%	302	100%	109	100%	45	100%

「活用は難しい」が全体の49%である一方、朝（7：30～8：30）又は夕方（17：30～19：00）を活用したいとの回答も15%（朝：7%、夕：8%）あった。

事前予約制度の導入

Q 今後、混雑を緩和し円滑に入館できることを目的として、日中の時間帯（8：30-17：30）に事前予約を導入することが考えられます。事前予約制度導入の是非についてご意見をお聞かせください。



区 分	全体		小学校		中学校		高校	
通年で修学旅行を一般訪問者よりも先行して予約できる事前予約制を導入すべきである	262	57%	170	56%	61	56%	31	69%
修学旅行の先行予約を認める事前予約であっても導入すべきではない	38	8%	28	9%	6	6%	4	9%
分らない	154	34%	103	34%	41	38%	10	22%
未選択	2	0%	1	0%	1	1%	0	0%
合 計	456	100%	302	100%	109	100%	45	100%

「通年で修学旅行を一般訪問者よりも先行して予約できる事前予約制を導入すべきである」が57%である一方、「分らない」が34%であった。

V 参考

1 全般

広島以外を含めた全体日程

Q 修学旅行全体の日程を教えてください。

区 分	全体		小学校		中学校		高校	
日帰り	10	2%	7	2%	3	3%	0	0%
1泊2日	265	58%	251	83%	13	12%	1	2%
2泊3日	122	27%	32	11%	80	73%	10	22%
3泊4日	39	9%	0	0%	11	10%	28	62%
4泊5日以上	8	2%	0	0%	2	2%	6	13%
未選択	12	3%	12	4%	0	0%	0	0%
合 計	456	100%	302	100%	109	100%	45	100%

各学校ごとの参加人数

Q 参加人数（直近）

区 分	全体		小学校		中学校		高校	
50人未満	204	45%	158	52%	36	33%	10	22%
50～75人	77	17%	59	20%	17	16%	1	2%
76～100人	65	14%	45	15%	20	18%	0	0%
101～150人	58	13%	35	12%	17	16%	6	13%
151～200人	30	7%	3	1%	13	12%	14	31%
201人～250人	10	2%	0	0%	4	4%	6	13%
251人～300人	5	1%	0	0%	1	1%	4	9%
301人～350人	4	1%	1	0%	0	0%	3	7%
351人～400人	1	0%	0	0%	1	1%	0	0%
401人以上	2	0%	1	0%	0	0%	1	2%
合 計	456	100%	302	100%	109	100%	45	100%

修学旅行を実施した動機・理由

Q 広島修学旅行を実施した動機・理由は何でしたか。（複数回答可）

区 分	全体		小学校		中学校		高校	
広島での平和学習の効果が 高いことを認識した	417	91%	285	94%	93	85%	39	87%
広島を訪問することが 伝統となっている	261	57%	213	71%	39	36%	9	20%
予算・移動時間ともに 適当であった	104	23%	72	24%	17	16%	15	33%
教員・保護者・児童 ・生徒から希望があった	85	19%	51	17%	26	24%	8	18%
旅行会社から提案があっ た	52	11%	35	12%	10	9%	7	16%
コロナ禍で方面変更の 必要があった	37	8%	2	1%	22	20%	13	29%

2 事前の情報収集関係

事前の情報収集の方法

Q どのような方法で広島修学旅行における平和学習に関連する情報を収集しましたか。（複数回答可）

区 分	全体		小学校		中学校		高校	
毎年広島修学旅行に行っているの で、既に把握している	337	74%	263	87%	59	54%	15	33%
旅行会社を通じて情報収集した	264	58%	165	55%	63	58%	36	80%
インターネット（HP、SNS等）で 情報収集した	259	57%	159	53%	75	69%	25	56%
教員による事前視察を行い情報収 集した	173	38%	119	39%	43	39%	11	24%
各施設等に直接問い合わせた	75	16%	44	15%	25	23%	6	13%
行政の担当窓口に資料提供を依頼 した	40	9%	17	6%	17	16%	6	13%

※割合は校種ごとの回答数に対する割合 (n = 456) (n = 302) (n = 109) (n = 45)

不足している情報

Q 広島修学旅行における平和学習に関連する情報として、現在何が不足しており入手したいと考えますか。（複数回答可）

区 分	全体		小学校		中学校		高校	
特に不足しているとは思わない	173	38%	115	38%	39	36%	19	42%
事前平和学習の教材に関する情報	170	37%	100	33%	52	48%	18	40%
雨天・荒天時の昼食場所に関する 情報	115	25%	97	32%	14	13%	4	9%
修学旅行当日の平和学習のコンテ ンツ（中身）に関する情報	91	20%	53	18%	28	26%	10	22%
他校での事前平和学習の実施状況 に関する情報	84	18%	53	18%	19	17%	12	27%
他校での修学旅行当日の平和学習 の実施状況に関する情報	75	16%	49	16%	18	17%	8	18%

※割合は校種ごとの回答数に対する割合 (n = 456) (n = 302) (n = 109) (n = 45)

3 事前学習関係

事前学習の内容

Q 事前学習ではこういった内容を行いましたか。（複数回答可）

区 分	全体		小学校		中学校		高校	
折鶴を作成した	388	85%	280	93%	89	82%	19	42%
日本の歴史と戦争について学習した	382	84%	277	92%	82	75%	23	51%
学校で用意した教材を活用して学習した	285	63%	190	63%	71	65%	24	53%
地域の戦跡や空襲の被害等について学習した	233	51%	165	55%	52	48%	16	36%
学校以外が作成した教材などを活用して学習した	152	33%	113	37%	33	30%	6	13%
戦争体験者や被爆者による講話を直接聴いた	118	26%	70	23%	37	34%	11	24%
戦争体験者や被爆者による講話を動画で視聴した	66	14%	51	17%	13	12%	2	4%
広島の子どもたちとの交流（オンライン）を行った	5	1%	2	1%	3	3%	0	0%

※割合は校種ごとの回答数に対する割合 (n = 456) (n = 302) (n = 109) (n = 45)

資料館が提供する教材の活用

Q 平和記念資料館が提供している平和学習教材等の活用状況を教えてください。（複数回答可）

区 分	全体		小学校		中学校		高校	
平和学習ハンドブック・ワークブックを活用	275	60%	214	71%	53	49%	8	18%
活用していない	155	34%	76	25%	51	47%	28	62%
映像資料（DVD・VHS）を活用	41	9%	30	10%	8	7%	3	7%
貸出用パネル、ポスター、絵を活用	9	2%	6	2%	1	1%	2	4%
平和学習講座（対面、オンライン）を活用	5	1%	2	1%	3	3%	0	0%

※割合は校種ごとの回答数に対する割合 (n = 456) (n = 302) (n = 109) (n = 45)

4 昼食関係

当日の昼食場所

Q 広島修学旅行当日、昼食はどこで食べましたか。

区 分	全体		小学校		中学校		高校	
飲食店、ホテル、旅館等	153	34%	103	34%	38	35%	12	27%
平和記念公園（屋外）	132	29%	121	40%	11	10%	0	0%
平和記念公園の施設内	69	15%	52	17%	16	15%	1	2%
広島で昼食をとらなかった	55	12%	9	3%	26	24%	20	44%
バスなどの車内	36	8%	14	5%	10	9%	12	27%
自由食（班別行動等）	10	2%	3	1%	7	6%	0	0%
未選択	1	0%	0	0%	1	1%	0	0%
合 計	456	100%	302	100%	109	100%	45	100%

屋外で昼食をとった理由

Q なぜ屋外で昼食をとることにしたのか教えてください。

区 分	全体		小学校		中学校		高校	
行程上効率的であったことからやむを得なかった	112	56%	97	56%	14	52%	1	100%
平和記念公園で昼食をとらなかった	62	31%	56	32%	6	22%	0	0%
屋内の昼食会場が確保できなかった	14	7%	11	6%	3	11%	0	0%
未選択	13	6%	9	5%	4	15%	0	0%
合 計	201	100%	173	100%	27	100%	1	100%

5 混雑対策関係

資料館に入館した時間

Q 資料館入館時間を教えてください。

区 分	全体		小学校		中学校		高校	
8:30～10:00	27	6%	12	4%	10	9%	5	11%
10:00～12:00	103	23%	81	27%	18	17%	4	9%
12:00～15:00	265	58%	186	62%	59	54%	20	44%
15:00～17:30	57	13%	22	7%	19	17%	16	36%
17:30より後	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
未選択	4	1%	1	0%	3	3%	0	0%
合 計	456	100%	302	100%	109	100%	45	100%

入館前の待ち時間

Q 資料館に入館するために列に並ぶなどして要した時間はどれくらいですか。

区 分	全体		小学校		中学校		高校	
15分未満	342	75%	235	78%	74	68%	33	73%
15分以上30分未満	91	20%	61	20%	23	21%	7	16%
30分以上45分未満	17	4%	5	2%	8	7%	4	9%
45分以上60分未満	3	1%	0	0%	2	2%	1	2%
60分以上	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
未選択	3	1%	1	0%	2	2%	0	0%
合 計	456	100%	302	100%	109	100%	45	100%

事前予約が可能な時期

Q 仮に、全開館時間を通して事前予約制とした場合、何か月前から予約可能ですか（日程が決まるのは何か月前ですか。）。

区 分	全体		小学校		中学校		高校	
1年以上前から予約可能	64	14%	38	13%	16	15%	10	22%
6か月前～1年前に予約可能	245	54%	168	56%	52	48%	25	56%
3か月前～6か月前に予約可能	116	25%	77	25%	31	28%	8	18%
3か月前以降に予約可能	29	6%	19	6%	8	7%	2	4%
未選択	2	0%	0	0%	2	2%	0	0%
合 計	456	100%	302	100%	109	100%	45	100%